NEWS RELEASE

2021 年８月 20 日

No. 広 21－7

UDP／TCP 通信機能および PC レスでのタグリスト更新機能を追加

生産現場の利便性向上を実現するφ22 スマート RFID リーダ「KW2D 形」

IDEC 株式会社（代表取締役会長兼社長：舩木 俊之）は 2020 年９月７日（月）より、社員証などの IC カードや、鍵の代わりとして欧州で広く使われている KEYFOB タグを読み取ることで、機械・装置の権限管理や現場での入退室管理、検査ラインの履歴管理などを実現する、φ22 スマート RFID リーダ「KW2D 形」をグローバルで発売いたしました。KW2D 形は、水や油がかかる環境下でもご使用いただける高い耐環境性能と、Ethernet ポートを搭載することでプログラマブルコントローラやプログラマブル表示器などの上位機器と接続がしやすいといった特徴を持つ製品です。

これまでは、「Modbus TCP」、「EtherNet/IP」、「CC-LINK IE Field Basic」の３つの通信プロトコルに対応しておりましたが、2021 年８月末に予定しているバージョンアップにより、UDP／TCP 通信機能が新たに追加されます。UDP／TCP 通信が可能となることで、上記３つの通信プロトコルに対応していないホスト機器でも、KW2D 形と接続いただくことが可能となります。

また、通常は PC ソフトを使うことでタグリストの新規登録や削除などを行いますが、今回のバージョンアップにより、マスタータグ（カード）を使って KW2D 形が設置されている現場で登録や削除が可能となり、タッチパネルなどのホスト機器からも登録・削除および編集ができます。これにより PC を現場に持っていかなくてもタグリストの更新作業ができることから、ユーザビリティが大きく向上いたします。

以上

このリリースに関するお問い合わせ
IDEC 株式会社　経営戦略企画部　コーポレートコミュニケーション担当　元山理映子
（TEL）06-6398-2505　　（Email）rieko.motoyama@idec.com